

## 平成30年 水稲収穫後圃場管理のチェックポイント

- ・根雪前の圃場管理（ステップ1～3）で乾田化を徹底し、乾土効果を活用しましょう！
- ・来年に向けて、圃場整備と土壌診断（ステップ4・5）を実施しましょう！

### ステップ1 稲わらの搬出

- ◆稲わらは貴重な資源です。搬出して堆肥や飼料などに有効活用しましょう！（写真下）
- ◆稲わらの野焼きは、煙害（健康・交通）や産地への風評害の原因になります。絶対に行わないようにしましょう！
- ◆稲わら搬出は、いもち病発生圃場では菌密度を低減できます。

### ステップ3 心土破碎の施工

- ◆心土破碎は、「圃場が乾いている時にできるだけゆっくりと施工する」がコツです。



### ステップ2 溝掘りで表面排水の促進

- ◆溝は落水口につなぎ、表面水を圃場外に流すことが重要です！
- ◆表面水の除去により、圃場の乾燥が早まります。



### ステップ4 あぜの補修

- ◆冷害危険期に、最大20cmの深水管理ができるしっかりとした畦に補修しましょう！



### ステップ5 土壌診断の活用

- ◆高品質米の安定生産には、施肥の適正化が必須です。
- ◆土壌診断や圃場の生育を参考に、圃場ごとに施肥を見直しましょう！
- ◆土壌分析は、3～4年毎に行いましょう！



稲わらの搬出